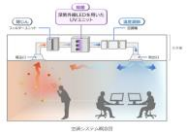
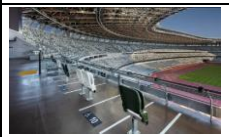
・・・代表事例　・・・・代表に類似した事例

事例タイトル	目的・目標	具体的内容	参考図	実施主体	SDGs17の目標 1 貧困	2 飢餓	3 保険	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ、産業化、イノベーション	10 不平等	11 持続可能な都市	12 持続可能な消費と生産	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実施手段	参考資料 URL、文献名、出典（閲覧日：2022年3月31日）
2.建設業のあるべき姿																						
2-2.人・社会への対応																						
森林の整備	森林の多面的機能の発揮	「地球への配当」として連結純利益の2%を目安に、地球環境に貢献する事業外活動に拠出している。さらに、社員本人や家族が森林ボランティア活動などに参加すると「Me-pon」（Maeda eco-point）というポイントが付与され、貯まったポイントはエコ商品やエコ休暇との引き換え、人間ドック受診補助、森林整備活動等への寄付に使うことができる。この「地球への配当」や「Me-pon」を活用し「MAEDAの森」を設置し、森林整備活動を行っている。		前田建設工業				●								○		●			https://www.alterna.co.jp/29685/
フードバンク支援事業への協力		国の災害用備蓄食品の有効活用の取り組みに賛同し、事業継続を目的として会社で備蓄している食料品を、子ども食堂や生活困窮者へ届けている。		若築建設																		https://www.wakachiku.co.jp/csr/sdgs_1.html
ケア・インターナショナル・ジャパンに寄付支援		「貧困のない、すべての人々が尊厳をもって安心して暮らせる、希望に満ちた、寛容で公正な世界」を目指すケア・インターナショナル・ジャパン（以下CARE）に、法人会員として継続的に寄付支援を実施している。		大成建設																		https://www.taisei-sx.jp/iso26000/community/#anc1
子供の未来応援国民運動	企業とNPO等とのマッチングによる子供の貧困対策の推進	「子供の未来応援国民運動」は、貧困に苦しんでいる子どもに対し、国民一人ひとりの「何かをしたい」という想いをつなげ、行動に変えていくプロジェクト。現在、大きく3つの活動の1つに、企業とNPO等とのマッチングがある。企業等にとっては自社のCSRやSDGs（持続可能な開発目標）に関わる取り組みとして、事業の特性に応じた協力が実現。一方、支援団体側も、企業の協力を得て、幅広く子供の貧困対策を実施することができる。		内閣府																		https://kodomohinkon.go.jp/hinkon/movement/
棚田保全活動	棚田地域の振興	つなぐ棚田遺産に認定されている「松代の棚田」（新潟県）や「星峠の棚田」（同）などのエリアで棚田保全活動を行う「まつだい棚田バンク」の企業オーナーとなり、配当米の社内食堂での活用や、地域イベントへの参加などの活動。		鹿島建設											●						○	サステナビリティニュース｜サステナビリティ｜鹿島建設株式会社 (kajima.co.jp)
ユニバーサルデザイン	利用者の身体能力、性別、国籍に関わらず使いやすい建築を目指す	利用者の身体能力・利用者が置かれている状況・利用者の体格・性別・国籍などにかかわらず「使いやすく」「わかりやすい」建築・情報・サービスを創造する。鹿島は、「いつでも安全・安心な技術」、「誰にでもわかりやすい空間」、「どんなところも使いやすい建築」を3本柱として、ユニバーサルデザインに取り組んでいる。		鹿島建設					●					○	●							https://www.kajima.co.jp/tech/universal_design/index.html

・・・代表事例　・・・・代表に類似した事例

事例タイトル	目的・目標	具体的内容	参考図	実施主体	SDGs17の目標																	参考資料
					1 貧困	2 飢餓	3 保険	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ、産業化、イノベーション	10 不平等	11 持続可能な都市	12 持続可能な消費と生産	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実施手段	URL、文献名、出典（閲覧日：2022年3月31日）
菌・ウイルス除去に特化した空調システム「Stela UVC」	室内空気の除菌により、建物利用者に安全・安心な空気環境を提供	建物の空調システムに深紫外線LEDを搭載したUVユニットを組み込むことで、循環する空気に深紫外線を照射し室内空気を除菌。		鹿島建設、日機装			●															https://www.kajima.co.jp/news/press/202209/15a1-j.htm
サステナビリティ推進体制の確立	持続可能な社会の実現	サステナビリティ推進の監督・指導を行う「サステナビリティ委員会」を取締役会の諮問機関として設置。執行側に「サステナビリティ戦略委員会」を設置し、「ESG＋B」の4つの観点から取り組むテーマを定め、経営資源の適切な配分のもと事業戦略に反映させるべく議論を深める。サステナビリティ戦略委員会が特定した課題の解決へ向けた取り組みは、本部・事業部など執行部門が優先順位を決めて実行する。	TODA Group Global Vision "喜び"を実現する企業グループ	戸田建設									●									戸田建設グループのサステナビリティ（戸田建設）
人権方針の制定	人権の尊重	人権尊重はすべての企業に求められるグローバルな行動基準と捉え、人権方針を策定。国連「ビジネスと人権に関する指導原則」をはじめとする国際的な人権規範を支持、尊重するとともに、「国連グローバル・コンパクト」署名企業として人権をはじめとする10の原則を遵守し、ESGに配慮した経営の推進のため、人権尊重への取り組みを進めていく。		戸田建設				○					●									人権方針の策定について（戸田建設）
調達方針の制定	「所要の品質に対して最も価値のある製品やサービスを国内外を問わず調達する。」	調達の基本的な考え方 ①公平・公正な取引 ②「パートナーシップ」に基づく相互発展 ③「良き建設人」としてのコンプライアンス推進 ④「グリーン調達」の提案 ⑤「機密情報保持」と「情報開示」		戸田建設																●		調達方針（戸田建設）
健康経営の実現	経営課題を解決するためには、社員が心身ともに「健康」であることが不可欠であり、職場環境改善、生活習慣改善およびメンタルヘルス対策といった健康課題に取り組む必要がある。	健康経営優良法人2022（ホワイト500）の認定〔4年連続〕 戸田建設グループ健康経営宣言を制定。 会社の重要施策として「健康経営の推進」を掲げ、社長からのトップメッセージにより各種取り組みを実施。専門部署である「健康管理課」を新設し、また従来の健康管理に加え、「プレゼンティズム」「アブセンティズム」の観点から、健康経営をより一層促進。	2022 健康経営優良法人 Health and productivity ホワイト500	戸田建設																		健康経営の推進（戸田建設）
障害者雇用の促進	傷害のある社員が働きやすい環境を整える	・情報保障のためのツールの全社展開、イベント時の手話通訳士招聘 ・社外カウンセラーと共に、当事者及び上司への個別ヒアリング ・有資格者の配置 ・Valubale500への参画	Valuable 500	大成建設			●					○										https://www.taisei.co.jp/about_us/wn/2021/210513_8203.html

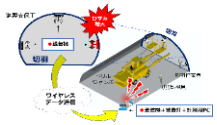
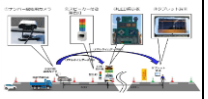
・・・代表事例　・・・・代表に類似した事例

事例タイトル	目的・目標	具体的内容	参考図	実施主体	SDGs17の目標																	参考資料
					1 貧困	2 飢餓	3 保険	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ、産業化、イノベーション	10 不平等	11 持続可能な都市	12 持続可能な消費と生産	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実施手段	URL、文献名、出典（閲覧日：2022年3月31日）
「家族の日」関連イベントの開催	内閣府が主催する「家族の日」の趣旨に賛同し、社員のエンゲージメント向上などを目的に、写真コンテストを実施	設計や施工に携わった物件に家族と訪れた際の写真をエピソードや家族のメッセージと共に募集した。		大成建設								●										
建設の最前線で働く作業員のための新しいワークプレイス：ウェルネス作業所	建設作業所をデザインの力で働きがいのある魅力的な職場環境を実現し健康経営を推進する	建設の最前線で働く社員や作業員のための新しいワークプレイスを導入。作業所内に集中作業部屋や、短時間でストレス軽減できる気持ちのよい屋外空間を設け、利用者がその時々にあわせて選択できる。大成建設では働く環境に新たな価値が創出され、そこで得られる様々なデータやノウハウが、健康経営や働き方改革の実現に向けた顧客課題の解決に役立つワークプレイスを展開している。		大成建設								●	○								○	https://www.taisei-sx.jp/library/pdf/2020/corp2020_main.pdf
魅力的な職場環境を実現する『TAISEI Creative Hub』の取り組み	社員一人ひとりが働きがいのある魅力的な職場環境を実現し、SDGsのターゲットの一つである健康経営を推進するとともに、人と人を結び付けるHubとしての機能を加え、新たな顧客および社会の価値創造につながるイノベーションを生み出すための空間づくり	ABWの概念を取り入れた『TAISEI Creative Hub』の取り組みを推進し、新たに3つのワークプレイス（①都心型ワークプレイス：「クリエイティブメディアラウンジ」、②郊外型ワークプレイス：「オープンミーティングスペース」、③仮設型ワークプレイス：「ウェルネス作業所」）を構築することで、魅力ある働く環境づくりを実践していく。		大成建設								●									○	https://www.taisei.co.jp/about_us/wn/2020/200217_4835.html
国立競技場のユニバーサルデザイン	年齢・性別・国籍・障がいなどにかかわらず、「誰もが利用できるユニバーサルデザイン」で、誰もが利用しやすく暮らしやすい社会を目指す	ナショナルスタジアムとして2019年に完成した国立競技場。本競技場のユニバーサルデザインは、障がい者、高齢者、子育て支援や補助犬の協会など14の団体とワークショップを重ね実施。点字ブロックの凸を、車椅子が通るところは通常半分の2.5mmし、ミリ単位の足し算・引き算を実施し、様々な特性を持つ方々が、互いに譲りあえる落としどころをみつけるなど、世界最高のユニバーサルデザインを追求した。		大成建設				●					○				○				○	https://www.taisei.co.jp/kokuritsu/concept.html
T-iROBOシリーズによる建設重機の無人化・自動化運転	遠隔操作と自動運転が可能な建設機械の開発を通じて、建設産業の喫緊の課題高齢化社会による労働力不足の解消や生産性向上に貢献する	大成建設は、2013年より遠隔操作と自動運転が可能な建設機械「T－iROBOシリーズ」の開発に取り組んでおり、現在までに4機種（バックホウ、クローラダンプ、振動ローラ、ブルドーザー）の建設機械の自動運転と、自動運転を行う複数の建設機械によるに協調運転を実現。建設機械の自動化に関連する技術は、建設現場で早期に確立が望まれる技術の一つとして、期待されている。		大成建設								●	○								○	https://www.taisei-techsolu.jp/tech_center/topics/t-irobo/
グリーンコミット	主に環境に関する社会課題の解決を目的とした活動を支援するための仕組み	「地球への配当」として連結純利益の2%を目安に、地球環境に貢献する事業外活動に拠出している。地球温暖化防止、生物多様性保全、環境教育、海外における環境保全やそれらに資する活動、環境に関する研究開発と、課題ごとにカテゴリーを分け、これらに該当する活動に対し内容を精査し、支援を行っている。例として、「MAEDAの森」を設置し、社員本人や家族が森林ボランティア活動などに参加する森林整備活動を行っている。		前田建設工業				○								○		●			https://www.alterna.co.jp/29685/ https://www.maeda.co.jp/csr/sacca/cwsac/

・・・代表事例　・・・・代表に類似した事例

事例タイトル	目的・目標	具体的内容	参考図	実施主体	SDGs17の目標 1 貧困	2 飢餓	3 保険	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ、産業化、イノベーション	10 不平等	11 持続可能な都市	12 持続可能な消費と生産	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実施手段	参考資料 URL、文献名、出典（閲覧日：2022年3月31日）
エコポイント制度「Me-pon」	日常生活において積極的に環境活動に取り組む社員とその家族を応援することを目的にした社内エコポイント制度	参加対象を職員だけでなく、その家族にまで広げているのが特長。参加者が取り組んだ様々な環境活動を専用サイトに登録すると、1ポイント＝10円相当の「Me-pon」ポイントが、環境活動別に、決められた分だけ付与される仕組み。貯まったポイントは、社員ご本人が環境配慮製品などを選んで購入することもできる、地球に優しいしくみとなっている。		前田建設工業										○				●			https://www.maeda.co.jp/csr/sacca/cwsac/
湾岸エリアの活性化	水域・陸域の価値向上	当社の東京本店が立地し、今後臨海部のまちづくりが期待される江東区の湾岸・運河エリアにおいて、「イーストベイ構想」という未来像を掲げてまちづくりを進めている。このエリアが水門に囲まれた運河や川を持つ親水性の高いエリアである特徴を活かし、東京都港湾局の運河ルネサンス推進地区の指定も受け、水域の活用・活性化により陸域の価値向上を目指して、様々なステークホルダーの方々と協働し実践している。	 イーストベイ運ルネ（水辺のミニ実験）	竹中工務店										○			○			●	https://www.takenaka.co.jp/enviro/es report/pdf/2022/all.pdf
生産性向上に向けたBIM活用	生産性向上	生産現場における新たな業務スタイルとして、BIMデータを元にしたデジタルデータに基づくものづくりを推進している。当社は様々なステークホルダーが特定のBIMソフトに縛られず、国際共通フォーマットのIFCによるデータ共有・連携が可能な「オープンBIM」を採用している。発注者や設計事務所のみならず、協力会社までプロジェクトに関わる多くの関係者とBIMモデルを含む最新情報をタイムリーかつ確実に共有することにより、精度の高い確実なものづくりを実現している。現在では、BIMモデルを中心としたデータを、第三者機関による検査やファシリティマネジメントに活用し始めており、プロセス全体での生産性向上に取り組み、全てのステークホルダーにとっての働き方改革実現を目指している。	 オープンBIM	竹中工務店								●		○					○	https://www.takenaka.co.jp/enviro/es report/pdf/2023/all.pdf
2-2-1.安全衛生																						
安全体感車「甕割号」 車両名は司馬温公の甕割りの逸話に由来し、どんなに貴重なものでも人の命には代えられないという「人命尊重」の理念のもと、甕割号の運用を通じて技能労働者に直接教育を行い、労働災害ゼロを目指す	建設技能労働者に対する安全教育の強化・高度化	荷室の側面が上下に開閉するウィングボディーの11tトラックをベースに、労働災害をリアルに体験できる「体感装置」や仮想空間で災害を疑似体験できる「VR装置」を荷室内に装備。リアル体感装置は、挟まれ、感電、酸欠、飛来落下、ぶら下がりなど11種類、VR装置は、墜落、転倒、車両事故、転落などを疑似体験できる約12種類のコンテンツを用意している。 教育対象は主に作業所で働く技能労働者で、年間の受講者数は延べ2,400名を予定している。		清水建設			●					○									https://www.shimz.co.jp/company/about/news-release/2022/2022002.html
安全・品質最優先 「五洋スタンダード（ペンタ・スタンダード）」	労働災害防止・品質マネジメント活動「五洋スタンダード（ペンタ・スタンダード）」を国内外で展開	安全・品質最優先の労働災害防止・品質マネジメント活動を「五洋スタンダード（ペンタ・スタンダード）」と位置づけ、国内外でその展開を図り、協力会社と一体となった労働災害防止活動を実施している。 具体的な取組み例： 五洋建設自主規制、災害防止活動（3・3・3運動等）、特別安全日（3/30）、安全大会（毎月1日）、安全週間（準備期間：6/1～30、本週間：7/1～7）等の海外展開		五洋建設			●	○				○	○	○								https://www.penta-ocean.co.jp/company/csr/report/2022/pdf/2022_11.pdf
トンネル出来形・監視UGV	無人化による安全性確保、品質管理	トンネルの掘削面・吹付けコンクリート面の出来形測定と作業の監視を遠隔操作によって行う「出来形・監視UGV」を開発。人が切羽や重機に近づくことなく、安全性を確保したまま定量的な出来形測定や、作業の監視による品質管理が可能。		大林組								●	○									https://www.obayashi.co.jp/news/detail/news20221017_1.html

・・・代表事例　・・・・代表に類似した事例

事例タイトル	目的・目標	具体的内容	参考図	実施主体	SDGs17の目標																	参考資料
					1 貧困	2 飢餓	3 保険	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ、産業化、イノベーション	10 不平等	11 持続可能な都市	12 持続可能な消費と生産	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実施手段	URL、文献名、出典（閲覧日：2022年3月31日）
暑さ指数ウォッチャー®の新モデル「SisMil」（シスミル）	熱中症予防対策、快適な環境づくり	建設現場で働く作業員の安全な環境整備のため、現場内の複数箇所の暑さ指数（WBGT）を連続測定し、クラウドで一元管理。熱中症を引き起こす危険域に達すると、現場に設置したパトライト表示やメールによる警報で作業員や管理者に危険を知らせるなど、リアルタイムにリスクを察知。より的確な熱中症対策が行える。		大林組、オーク情報システム			●					○										https://www.obayashi.co.jp/news/detail/news20220510_1.html
山岳トンネル工事で鋼製支保工のひずみをワイヤレスで計測「ハカルーター」	安全な作業環境の確保	山岳トンネル工事において、鋼製支保工のひずみをワイヤレスで計測するシステム「ハカルーター®」を開発。無線計測であるため、切羽における配線作業が不要。ひずみや応力が管理値を超え、落石の危険を察知した際には、迅速に作業員を退避させることが可能。		大林組								●	○		○							https://www.obayashi.co.jp/news/detail/news20220719_3.html
山岳トンネル工事ロックボルト遠隔打設専用機「ロボルタス」（安全）	容易な遠隔操作による安全性向上と省人化	山岳トンネル工事におけるロックボルト打設作業に必要な、削孔からモルタル注入、ロックボルト挿入までの一連作業を遠隔操作で行うことができるロックボルト遠隔打設専用機「ロボルタス」を開発。安全性向上と省人化を実現。		大林組								●	○		○							https://www.obayashi.co.jp/news/detail/news20221226_1.html
外国人労働者向け 日本語理解度テスト	外国人労働者における日本語の理解不足に起因する労働災害を削減すること	立入禁止、火気厳禁をはじめ、災害につながる危険性の高い事象を対象として、日本語理解の必要性の高いものを24語選別し15か国語に翻訳している。24語のすべてについてイラストまんがも加え、理解向上を図っている。これら24語について、入場前にテストを実施し、24問中8問を正答必須語とし、計20問以上正答で合格とする。不合格者は単独作業禁止を条件として入場を許可するが、合格するまで本テストを繰り返し行う。イラストまんが、テスト実施のフロー、テスト用紙を㈱つくし工房のホームページで公開している。		清水建設			●					○		○								https://www.tukusi.co.jp/comprehension/
高年齢作業員体力測定マニュアル	高年齢作業員が身体機能の低下を自覚するとともに、体力の維持・向上を目指す	・身体機能測定の実施から体力維持・向上までのフロー図 ・身体機能測定方法の解説 ・身体機能測定実施後の結果と評価 ・体力維持・向上プログラムの解説		清水建設			●					○										
現場入場車両通知システム	現場安全向上	工事車両の近接をより早く確実に誘導員に伝えるため、現場に設置した赤外線カメラで車両のナンバープレート番号を読み取り、事前に登録した現場入場車両であることを規制帯の誘導員へリアルタイムに通知するシステム。誘導員の安全確保と現場入場車両の管理を容易にする。		日本道路								●	○									https://www.nipponroad.co.jp/technique/list/safety/product06/
多様化する作業員の知識・意識の向上	安全・衛生	労働災害を自分事として学べるVRコンテンツを製作し、作業員の知識・意識の向上教育に活用している。実際に起こった災害事例をもとに実写で構成し、実際に体験したかのようなリアルな教育が可能となり、経験の浅い作業員や若年作業員にも理解しやすい内容となっている。	 VR（バーチャルリアリティ）を使って労働災害を疑似体験	竹中工務店			○	●					○		○							https://www.takenaka.co.jp/enviro/es_report/pdf/2022/all.pdf

・・・代表事例　・・・・代表に類似した事例

事例タイトル	目的・目標	具体的内容	参考図	実施主体	SDGs17の目標																	参考資料
					1 貧困	2 飢餓	3 保険	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ、産業化、イノベーション	10 不平等	11 持続可能な都市	12 持続可能な消費と生産	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実施手段	URL、文献名、出典（閲覧日：2022年3月31日）
新たなオフィス空間の提供	安全・衛生	コロナ禍を経験し、テレワークなど多様な働き方が普及した。「働くための空間」をテーマに様々なステークホルダーと対話を重ね、働く場の再構築についてまとめた。ニューノーマル時代に求められるリアルなオフィス空間の役割をお客様とともに考え、提供する。		竹中工務店			●								○						○	https://www.takenaka.co.jp/enviro/es_report/pdf/2022/all.pdf
2-2-2.ディーセントワーク・働き方改革																						
長時間労働の是正や柔軟な働き方がしやすい環境整備	働く人すべてのワーク・ライフ・バランスを推進し、個人が輝き、誰もがどこでも豊かさを得られる社会の実現	日建連では、「働きやすさ」「働きがい」のある建設業界にしていくため、会員企業の「現場」「組織」が自発的に取り組んでいる「働き方改革」に関連するユニークな活動をホームページで紹介している。 【カテゴリ】 女性活躍推進 現場イノベーション SDGS 職場環境改善 ライフワークバランス 新技術 生産性向上		日建連会員各社					●													https://www.nikkenren.com/2days/workstylelab/
テレワークの拡大	社員が業務に最適な環境を選択できることにより、生産性を高める。	在宅勤務制度の導入により、生活と仕事を両立する勤務体制づくりを推進。多様な人財の活躍推進と業務効率化による生産性向上を図る。		日建連会員各社					●													
ワークスペースのアップデート	クリエイティブでパフォーマンスの高い業務遂行を支える基盤の整備	・WEB会議、テレワークの増加を受けて、少人数、他拠点との連携など、多様な会議や打ち合わせを可能とするスペースを確保（CASBEE-ウェルネスオフィスのSランクを取得） ・時間と場所にとらわれない執務環境の実現というニューノーマルにおける新しい働き方の検討		安藤・ハザマ					●													
低床式AMR（自律作業ロボット）を用いた資材自律搬送システム	省力化・作業効率化	低床式AMR（自律作業ロボット）を用いた資材自律搬送システムを開発。		大林組、（協力：SRI International（米））								○	●								○	https://www.obayashi.co.jp/news/detail/news20211011_1.html
PLiBot設立	人とロボットが協働する持続可能な社会の実現	多様なAMR（自律走行搬送ロボット）や既存設備をナビゲーションシステムを介して連携して動かす統合制御プラットフォームを核とした自律化・省力化ソリューションを提供する新会社「PLiBOT（プライボット）株式会社」を設立。 PLiBOTホームページサイト：https://www.plibot.co.jp/		大林組、PLiBOT								○	●									https://www.obayashi.co.jp/news/detail/news20220908_1.html

・・・代表事例　・・・・代表に類似した事例

事例タイトル	目的・目標	具体的内容	参考図	実施主体	SDGs17の目標																参考資料
					1 貧困	2 飢餓	3 保険	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ、産業化、イノベーション	10 不平等	11 持続可能な都市	12 持続可能な消費と生産	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実施手段	URL、文献名、出典（閲覧日：2022年3月31日）
オープンイノベーションによりスマートビルプラットフォーム「WELCS place」（ウェルクスプレイス）	管理者と利用者双方の利便性向上とビルの付加価値向上、デジタル化	ビル管理者と利用者双方の利便性向上とビルの付加価値向上を実現するスマートビルプラットフォーム「WELCS place」を開発。 「UI/UX基盤」「認証基盤」、様々なアプリケーションの連携のための「API基盤」、IoTセンサーのデータ利用のための「共通DB基盤」、それらを支えるネットワークインフラである「統合NW基盤」の5つの基盤サービス群で構成され、ロボット活用への対応、会議室・座席の予約、エネルギーの見える化など、すでに選択可能な多くのサービスが実装されている。		大林組、（協力:Join Digital(米)、FYF、セールスフォース・ジャパン、ジョンソンコントロールズ、ビットキー、Roby(米)、Wynd Technologies(米)）								●								○	https://www.obayashi.co.jp/news/detail/news20221003_1.html
AKASAKA KX-Project　鹿島トランスフォーメーション	これまで積み上げてきたバリューチェーンを活かしたさらなる独創性の高い企業グループを目指し，本社圏の基盤づくり	土木・建築部門の集約により生産性向上を図る「オフィス環境の変革」と，ABW推進や，部門間および外部など社内外との結束・融合を促すコミュニケーションハブを整備する「ワークスタイルの変革」。		鹿島建設					○			●										May 2022: 特集 AKASAKA KX-Project 鹿島トランスフォーメーション	KAJIMAダイジェスト	鹿島建設株式会社
IoTを活用した建設現場の作業者安全モニタリングシステムを開発	安全で快適な作業環境を整備	建設作業者の 生体情報や周囲環境（作業環境）をヘルメット取り付け型センサデバイスでリアルタイムに監視。熱ストレスを把握することができる。計測した数値をクラウド上で解析し、アラートを送信することで、現場監督者が適切に作業者の健康管理を行うことができる。		戸田建設、村田製作所								●										
男性社員の育児参加推進	人が性別にとらわれず能力を発揮できる社会の実現	男性社員における仕事と家庭の両立ニーズが高まっている。社員とそのパートナーが互いに働きながら家事や育児に関わる“ベストな共働きスタイル” を考えるフォーラムなどの研修やセミナーを開催し、育児参画への理解促進および男性社員の育児休業取得を推進するもの。		戸田建設、清水建設、五洋建設、NTT西日本、大和ハウス工業、リコー					●													
これからの働き方を実現する「SHIMZ CREATIVE FIELD」	ニューノーマルにおける新しい働き方	SHIMZ CREATIVE FIELDは、コロナ感染症のパンデミックを契機に、時間と場所を選ばない多様な働き方が進むなか、個人や組織のパフォーマンスの低下や帰属意識の希薄化が懸念されるが、あたかも一つのオフィスにいるような感覚で一体感をもって仕事ができる“仮想”空間を創出。		清水建設			○					●										https://www.shimz.co.jp/company/about/news-release/2021/20210020.html
ワークライフバランスによる多様な働き方の推進	多様な働き方の実現	2017年にスタートしたワークライフバランス(WLB)向上活動は、社長を委員長とする「抜本的全社生産性向上によるWLB向上委員会」の下で、多様性を尊重しながら、生産性向上と「働きがい」や「やりがい」を高めることを目的としている。喫緊の課題として、作業所の4週8閉所や2024年4月から建設業にも適用される、時間外労働の上限規制に照準を合わせて、活動を継続している。2021年は、時間管理意識のモードチェンジを目的に、社長メッセージと規制適用までの時間外上限目標のステップ計画を発信した。その実現の土台となる生産性向上のための竹中新生産システムやBIMを推進するとともに、作業所の働き方改革推進体制を強化して負荷軽減施策を進めている。そうした活動の進捗や効果は、社長が直接社員と対話を行うWLBダイアログで把握して次の施策につないでいる。	 WLBダイアログの様子	竹中工務店			●					○	○		○							https://www.takenaka.co.jp/enviro/es_report/pdf/2022/all.pdf

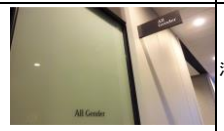
・・・代表事例　・・・・代表に類似した事例

事例タイトル	目的・目標	具体的内容	参考図	実施主体	SDGs17の目標 1 貧困	2 飢餓	3 保険	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ、産業化、イノベーション	10 不平等	11 持続可能な都市	12 持続可能な消費と生産	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実施手段	参考資料 URL、文献名、出典（閲覧日：2022年3月31日）
BIM等の活用による生産性向上	生産性向上	生産活動全般にわたる業務改革である「竹中新生産システム」やBIMの展開などにより、徹底した業務のデジタル化を進めている。それと同時に、事業に関わる全てのデータを2021年に運用を開始した「建設デジタルプラットフォーム」へ一元的に蓄積し、AI等を用いたデータ利活用の高度化を図ることで、事業の効率化とともに、社会とお客様への新たな価値創造を進めていく。	建設デジタルプラットフォーム	竹中工務店									●		○						○	https://www.takenaka.co.jp/enviro/es report/pdf/2022/all.pdf
2-2-3.ダイバーシティ&インクルージョン																						
ダイバーシティ経営	女性、外国人、高齢者、チャレンジド（障がい者）など、多様な人材の能力を最大限発揮させることにより、イノベーションの創出等の成果につなげる	日建連では、2019年11月に「けんせつ小町活躍推進計画（2020～2024年）」を策定し、「女性のみならず建設業で働く全ての人達にとって、働きやすい、働き続けたい」と思われる環境を実現していくため、「定着」、「活躍」、「入職」という3つのテーマを定め、様々な活動を展開中。		日建連会員各社					●			○										https://www.nikkenren.com/komachi/
建設業における女性の活躍推進	女性のエンパワーメントを推進	・企業における女性社員比率や管理職比率、役員比率等の向上 ・仕事と育児・介護等を両立できる環境の整備や、女性および社員全体を対象とした意識改革の推進 ・女性が働きやすい職場環境（建設工事現場等）の整備 ・協力会社を含むハラスメント研修の推進		日建連会員各社					●													
男性社員の育児参加推進	人が性別にとらわれず能力を発揮できる社会の実現	男性社員における仕事と家庭の両立ニーズが高まっている。社員とそのパートナーが互いに働きながら家事や育児に関わる“ベストな共働きスタイル” を考えるフォーラムなどの研修やセミナーを開催し、育児参画への理解促進および男性社員の育児休業取得を推進するもの。		日建連会員各社					●													
障がい者の活躍推進に取り組む国際イニシアチブ「The Valuable 500」に加盟	一人ひとりが個性を発揮できる、インクルーシブな社会の実現	「The Valuable 500」は、障がい者がビジネス・社会・経済においてその価値を発揮できるよう、ビジネスリーダーが自社のビジネスをインクルーシブにする改革を起こすことを目的とした国際イニシアチブ。障がいの有無に関わらず、全ての従業員がお互いを尊重し、多様な人財によるイノベーションを創出することを目指す。	The Valuable 500	清水建設、大成建設					●													https://www.shimz.co.jp/company/about/news-release/2021/2020052.html https://www.taisei.co.jp/about_us/wn/2021/210513_8203.html
パラリンアートコンペの開催	障がい者がアートで夢を叶える世界を作る	障がい者の自立支援活動をしている一般社団法人障がい者自立推進機構と共に「水」をテーマにしたデザインコンペを実施。受賞作品は関連施設での展示、建設現場の仮囲い、名刺デザイン、ノベルティグッズ等に活用。		障がい者自立推進機構、飛島建設					●													

・・・代表事例　・・・・代表に類似した事例

事例タイトル	目的・目標	具体的内容	参考図	実施主体	SDGs17の目標																	参考資料
					1 貧困	2 飢餓	3 保険	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ、産業化、イノベーション	10 不平等	11 持続可能な都市	12 持続可能な消費と生産	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実施手段	URL、文献名、出典（閲覧日：2022年3月31日）
可能性アートプロジェクト	障がいがあるアーティストが、生きがいを感じながら創作活動を続けられる社会の構築	凸版印刷株式会社と一般社団法人障がい者アート協会の共同取組「可能性アートプロジェクト」に賛同し、建設現場の仮囲いをアーティストの作品を公開する場として提供。		障がい者ｱｰﾄ協会、凸版印刷、安藤・ハザマ					●													
情報アクセスの機会均等化	誰もが享受できる情報バリアフリー社会の実現	手話通訳・UDトーク（スマートデバイスを用いて音声を文字に変換することのできる聴覚障がい者のためのアプリケーションソフト）の活用や、エレベーター全基にもユニバーサル点字を導入するなど、高齢者・障害者を含む誰もが 情報に平等にアクセスできる社会を実現する。		大成建設、大林組					●													https://www.obayashi.co.jp/ir/upload/ins/ir2022.pdf https://www.taisei.co.jp/saiyo/special_needs/html/challenge/
「障がい者の自立に向けた実習」におけるパン販売支援	障がい者の自立	東戸塚地域活動”ひかり”「障がい者の自立に向けた実習」におけるパン販売の支援を毎週実施。（2020年2月以降、コロナ感染拡大防止のため自粛）		大成建設					○													https://www.taisei-sx.jp/social/community/culture.html#anc5 http://www.y-hikari.jp/pdf/9gou.pdf
障がい者に対するインターンシップの受け入れ	障がい者の社会参加活動をインターンシップを通じて支援	継続的なインターンシップ受け入れの中で、2021年度はコロナ感染予防対策に十分留意しながら東京都立特別支援学校の高校生2名の実習も受け入れた。		ﾌｼﾞﾀ										●								フジタ高環境レポート2022　P34
NPO法人J-Winへ参画	女性リーダーの育成	2007年より特定非営利活動法人ジャパン・ウィメンズ・イノベーティブ・ネットワークへ入会し、女性管理職育成に取り組みへ参画している。毎期2名ずつ輩出し、これまでに累計24名が活動に参加している。		ﾌｼﾞﾀ					●					○								https://j-win5.jp/
語学教育の展開		当社のグローバル人材開発センターでは、これまで日本人社員を対象とした語学教育（オンライン英会話など）を展開していたが、2020年度より、日本を含めた15か国の拠点で外国籍社員を対象とした日本語教育を開始。		三井住友建設																		https://www.smcon.co.jp/corporatereport_2021/feature/02.pdf
中学生の印象に残るのは“話”よりも“体験” 職業体験を通し、本気で挑戦することの大切さを刻みこむ		当社は保有施設である「鉄道技術研修センター」を活用し、地域の小中学生向けの職場体験や、目の不自由な方を対象にした駅や踏切付近の危険を学ぶ講習の受け入れを行っている。当社は、これらの活動を通じ地域の方々と交流を図りながら、建設業に対する理解を深めていただけるよう取り組んでいる。		矢作建設																	https://www.kensetsu-kikin.or.jp/database/pdf/工業高校・建設会社の取組事例集2020～建設業の魅力を中学生へ伝えるために～.pdf

・・・代表事例　・・・・代表に類似した事例

事例タイトル	目的・目標	具体的内容	参考図	実施主体	SDGs17の目標																	参考資料
					1 貧困	2 飢餓	3 保険	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ、産業化、イノベーション	10 不平等	11 持続可能な都市	12 持続可能な消費と生産	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実施手段	URL、文献名、出典（閲覧日：2022年3月31日）
大阪国際女子マラソンへの協賛		大阪国際女子マラソンへの協賛活動を通じて、当社の思いや姿勢を示し、大阪の街を盛り上げるため、女性アスリートを応援している。レースにかける選手たちの姿と、当社社員がさまざまな困難を乗り越え、竣工というゴールに向けて建設の仕事に取り組む姿勢とが重なり共感できたこと、大阪への貢献や女性活躍推進に力を入れていることから、今後も大阪から世界に羽ばたく女性アスリートを応援していきたい考えである。		奥村組																			OKUMURA CORPORATE REPORT 2021 P41
外国人労働者と障がい者雇用の促進		現場における外国人労働者の受け入れを積極的に行っており、日本人を含む全入場者数に占める外国人労働者の割合は4.8%となっている。工事現場では、外国人技能労働者に対する配慮として、外国語で表記された新規入場者教育資料や安全看板の設置を行っている。また、障がい者雇用は、現行の法定雇用率2.30%以上確保するよう雇用管理を行っている。		奥村組																		OKUMURA CORPORATE REPORT 2021 P10
オールジェンダートイレの導入		本社屋にオールジェンダートイレを設置。 性別を問わず「誰もが働きやすい職場環境づくり」を目指して整備を進めている。		清水建設					●													https://www.shimz.co.jp/company/about/diversity/thought/
積極的な障がい者の採用		障がい者が就労できる農園型雇用の環境の創出。		鉄建建設																		https://www.tekken.co.jp/blog/000056.html
全国の事業所や建設現場にパラリンアーティストのアート作品を展示		障がい者アート事業を行うパラリンアート（一般社団法人 障がい者自立推進機構（所在地：東京都港区 代表理事：中井亮））のゴールドパートナーとして、「障がい者の自立支援」を行っており、全国にある事業所や建設現場の仮囲いなどに、パラリンアートに登録している障がい者アーティストが描いたアート作品を展示している。		奥村組																		https://www.okumuragumi.co.jp/newsrelease/2022/post-27.html
礼拝室（プレイヤールーム）の設置		2019年11月、本社に礼拝室（プレイヤールーム）を設置。礼拝室入り口には、ピクトグラムを用いた案内表示を設けている。主にムスリムの方の利用を想定しているが、特定の宗教に限定せず、祈祷・瞑想等にも利用が可能。		清水建設										●								https://www.shimz.co.jp/company/about/diversity/thought/
「みんなのトイレ」のサイン制作を知的障がい者授産施設へ依頼	多様な人材が働きやすい職場環境の提供	2022年4月、多様な属性を持つ社員が働きやすい職場づくりの一環として本社・東京本店のオフィスに、オールジェンダートイレを設置。看板は知的障がい者授産施設（大田区立くすのき園）が制作。		大林組					●					●								https://www.obayashi.co.jp/ir/upload/img/ir2022.pdf#26

・・・代表事例　・・・・代表に類似した事例

事例タイトル	目的・目標	具体的内容	参考図	実施主体	SDGs17の目標																	参考資料
					1 貧困	2 飢餓	3 保険	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ、産業化、イノベーション	10 不平等	11 持続可能な都市	12 持続可能な消費と生産	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実施手段	URL、文献名、出典（閲覧日：2022年3月31日）
ユニバーサル点字「Braille Neue（ブレイルノイエ）」の導入	多様な人材が働きやすい職場環境の提供	2022年4月、多様な属性を持つ社員が働きやすい職場づくりの一環として本社・東京本店のオフィスのエレベーター全基に、「Braille Neue（ブレイルノイエ）」という目が見える人も見えない人も、同じ情報を共有できるユニバーサル点字を導入。設置は障がい者を雇用するオーク・フレンドリーサービスが実施。		大林組										●								https://www.obayashi.co.jp/diversity_inclusion/torikumi.html#number3
多様な人々の健やかで働きがいのある環境の実現	ダイバーシティ（多様性）の促進	当社では性別、国籍、年齢、障がいの有無などに関わらず、誰もが活躍できる職場環境の実現を目指している。多様性の中でも女性活躍の促進・職域拡大に取り組んでおり、けんせつ小町工事チームの活動促進など、作業所での女性活躍環境づくりを継続的に行っている。育児と仕事の両立支援においては、2020年に育児・介護のための在宅勤務及び短時間フレックスタイム制度の導入、また外勤を対象にバリアブル勤務の導入、全社員を対象に時間単位年次有給休暇の導入など、フレキシブルな働き方を可能にした。シニア層の豊富な経験とスキルを活かした活躍を目的とした施策を進めている。		竹中工務店								●		●								
障がい者パラ支援	障がい者の社会参加活動を支援し、誰もが心豊かに生きる社会の実現に寄与する。	スポーツを通して障がい者の社会参加活動を支援する団体の活動に共感し、支援するため、JRJF（特定非営利活動法人日本視覚障害者柔道連盟）、JPSF（一般社団法人日本身体障がい者水泳連盟）とオフィシャルパートナー契約を締結した。 2016年8月　JPSFとオフィシャルパートナー契約。 2019年4月　JBJFとオフィシャルパートナー契約。		特定非営利活動法人日本視覚障害者柔道連盟、一般社団法人日本身体障がい者水泳連盟、ﾌｼﾞﾀ										●								https://www.fujita.co.jp/wp/wp-content/uploads/2016/08/1d48bc8a4c5aa51399abda73d973b8349.pdf https://www.fujita.co.jp/info/2252/
高精度音声ナビゲーション・システム「インクルーシブ・ナビ」	外国人・障がい者の方を含めたあらゆる人びとの活動を支援できる都市環境の構築と、それらを活用した日本の「おもてなし」の進化、バリアフリー・ストレスフリーな街づくりの実現	ビーコンの発信電波強度に基づいた高精度な屋内測位を特徴とする屋内外音声ナビゲーション・システムとIBM Cloud上で提供するWatsonの対話機能を連携し、車いす利用者、ベビーカー利用者、視覚障がい者を含む来街者（日本語、英語）をそれぞれに適した誘導方法により目的地まで快適に案内する。		三井不動産、清水建設、日本IBM										●								https://www.shimz.co.jp/company/about/news-release/2019/2019020.html
「屋内農園」の新設	多様な人材の活躍	障がいのある方が仕事や職場に適応・定着してキャリア形成できるよう、個々の適応状態に配慮した雇用条件や職場環境の整備に取り組んでいる。 2022年3月からは、株式会社スタートラインが運営する屋内農園型障がい者雇用支援サービス「IBUKI（いぶき）」と連携し、「新たな活躍の場」を提供している。	 屋内農園で働く当社の社員	竹中土木				○				●									○	
礼拝室設置	多様性を尊重して、より気持ち良く働ける職場環境づくりのため	2021年12月より、本社ビル内に礼拝室を設置している。 入口外側には、英語表示と合わせてピクトグラムを表示した。 入口内側には足洗場を設置し、礼拝室内にはメッカのカーバ神殿の方角（真西から北30度の北西）を天井に表示している。 尚、ムスリムの方以外の利用も可能である。		五洋建設								○		●								

・・・代表事例　・・・・代表に類似した事例

事例タイトル	目的・目標	具体的内容	参考図	実施主体	SDGs17の目標 1 貧困	2 飢餓	3 保険	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ、産業化、イノベーション	10 不平等	11 持続可能な都市	12 持続可能な消費と生産	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実施手段	参考資料 URL、文献名、出典（閲覧日：2022年3月31日）
2-2-4.担い手確保・人材育成																						
大林組林友会教育訓練校	技能労働者の確保と育成	・協力会社の技能労働者の育成と次世代への技能伝承を目的に、教育訓練校を開校（同教育訓練校は厚生労働者の制度を活用した職業訓練実施広域団体） ・カリキュラムとして、31日間の若年育成コース（とび・鉄筋・型枠）や、4日間の建設技能スキルアップコース（短期CAD習得）などがあり、多数の修了者を輩出している。		大林組、大林組林友会連合会				●				○									○	http://www.kunrenkai.com/introduce
理工チャレンジ（リコチャレ）支援	女性が様々な分野にチャレンジしていくことにより、多様な視点や発想が加わり、活力ある生き生きとした社会を実現する。	内閣府男女共同参画局や大学、団体、企業が、理工系分野で活躍する女性からのメッセージを紹介したり、職場体験などを実施して、女子中高生・女子学生が、理工系分野に興味・関心を持ち、将来の自分をしっかりイメージして進路選択（チャレンジ）することを応援する取り組み。		安藤・ハザマ、大林組、大成建設					●													
「理工チャレンジ（リコチャレ）」へ参画	建設業では少ない女性就業者を増加させるため、女子学生の理工系分野の進路選択を促進する	職場見学・仕事体験・女性技術者や研究者との交流の場を提供し、女子中高生・女子学生の理工系分野への進路選択を促進している。		ﾌｼﾞﾀ				●	○													フジタ高環境レポート2022　P39
STML教育支援		内閣府男女共同参画局、文部科学省総合教育政策局、一般社団法人日本経済団体連合会が推進する「理工チャレンジ（リコチャレ）～女子小中高生の理工系分野への選択～」の取り組みに賛同し、2015年より「夏のリコチャレ～理工系のお仕事体感しよう！～」に参加している。		大成建設																		https://www.taisei-sx.jp/social/community/culture.html#anc14
けんせつ小町（建設業で働くすべての女性の愛称）	建設業に携わるすべての人が働きやすく、働き続けたいと思われる環境づくり	女性にとっても働きやすく、働き続けられる建設業を目的に活動がスタートしたが、現在では、みんなが働きやすい、働き続けたい建設業の実現を目的に活動。 HPを通じて小中高生や女子学生を対象とした建設業の職種や体験談の紹介および現場見学会を開催。また、女性が活躍する工事チームや職場環境での快適向上の工夫など優良事例を発信。さらに、建設業をもっと知りたくなる様々な動画を配信し、建設業の魅力を広く紹介。		日建連会員各社					●													
中学生の印象に残るのは“話”よりも“体験” 職業体験を通し、本気で挑戦することの大切さを刻みこむ		当社は保有施設である「鉄道技術研修センター」を活用し、地域の小中学生向けの職場体験や、目の不自由な方を対象にした駅や踏切付近の危険を学ぶ講習の受け入れを行っている。当社は、これらの活動を通じ地域の方々と交流を図りながら、建設業に対する理解を深めていただけるよう取り組んでいる。		矢作建設																		https://www.kensetsu-kikin.or.jp/database/pdf/工業高校・建設会社の取組事例集2020～建設業の魅力を中学生へ伝えるために～.pdf
国内外において、現場や技術研究所での見学会や研修受け入れ等を継続的に実施	未知のものへの好奇心を持って頂くため 建設業の魅力や職業を知って頂くため 実際の現場を肌で感じて頂くため	国内外において、現場や技術研究所での見学会や研修受け入れ等を継続的に実施している。幼稚園児、児童、生徒、学生、そして教員等、対象者に合わせた活動を行っている。未知のものへの好奇心を持って頂くきっかけとして、建設業の魅力や職業を知って頂く機会として、そして実際の現場を肌で感じて頂く機会として重要な活動と認識している。		五洋建設				●						○								https://www.penta-ocean.co.jp/company/csr/society/visit/index.html https://www.penta-ocean.co.jp/company/csr/society/intern/index.html

・・・代表事例　・・・・代表に類似した事例

事例タイトル	目的・目標	具体的内容	参考図	実施主体	SDGs17の目標																	参考資料
					1 貧困	2 飢餓	3 保険	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ、産業化、イノベーション	10 不平等	11 持続可能な都市	12 持続可能な消費と生産	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実施手段	URL、文献名、出典（閲覧日：2022年3月31日）
建設業の魅了を次世代に伝える公開講座「シミズオープンアカデミー」		全国の青少年や一般の方々を対象とした、無料の公開講座を開設。建設に関する興味・関心をより深めていただけるよう、多彩なプログラムを通じて専門家が分かりやすく解説を行っている。		清水建設				●														https://www.shimz.co.jp/company/csr/sos/
地元学生や地域住民を対象とした現場見学会の開催		建設工事への理解を深めて頂くため、地元学生や地域住民、大学生を対象とした全国の工事所での現場見学会を実施している。また、大学生には就業体験機会であるインターンシップの受け入れも継続して実施している。		奥村組																		OKUMURA CORPORATE REPORT 2021 P42
地元小中学校に対する出前授業		地元小中学校に対する、職業講話、体験学習などの出前授業。		本間組																		https://www.honmagumi.co.jp/company/sdgs/
小・中学生向けキャリア教育教材「おしごと年鑑2022」に協賛	将来を担う小中学生の建設業への関心を高める	将来を担う小・中学生の建設業への関心を高めるため、朝日新聞社が発行するキャリア教育教材「おしごと年鑑2022」に協賛している。「おしごと年鑑」は、朝日新聞社が進めるキャリア教育支援プロジェクト「おしごとはくぶつかん」の事業として発行される、企業や団体の仕事を分かりやすく解説した教材。2016年の創刊より、毎年全国の小中学校、教育委員会、こども食堂などに寄贈されている。		朝日新聞社、協賛:ﾌｼﾞﾀ他				●				○										https://www.fujita.co.jp/info/11625/
専門学校学生を対象とした奨学金制度に協賛		建設業界で将来活躍する人材を育むことに役立ててもらうため、学費を免除する奨学金制度に協賛している。		東亜建設工業																		https://ssl.asano.ac.jp/scholarship/
「大成建設外国人留学生奨学金」制度の設立	日本との懸け橋として活躍する次世代建設技術者の人材育成	国内の大学に在籍する私費外国人留学生に向けた奨学金制度を2017年9月に設立。2022年度は、第四期生としてマレーシア人留学生1名、ベトナム人留学生4名、インドネシア人留学生1名が選ばれ、奨学金を支給。		大成建設																		https://www.taisei-sx.jp/social/community/culture.html#anc2
フジタ次世代建設技術共同研究講座の設置	先端技術の研究開発の促進、および広島大学スマートシティコンソーシアムとの連携により地方創生を図る	広島大学大学院先進理工系科学研究科に講座を設置し、微生物を活用したコンクリート構造物の施工、地盤改良などの先端技術の研究開発を行っている。 共同研究による効率的な先端技術の研究開発の推進と、フジタと広島大学スマートシティ共創コンソーシアムとの連携による相乗効果の実現を目指す。		広島大学・ﾌｼﾞﾀ				○					●									https://www.fujita.co.jp/_wp/wp-content/uploads/2022/06/20220630_Release.pdf
「安藤ハザマひとづくり財団」設立		・協力会社の担い手確保施策に対する支援を実施		安藤・ハザマ																		https://www.ad-hzm-zaidan.or.jp/

・・・代表事例　・・・・代表に類似した事例

事例タイトル	目的・目標	具体的内容	参考図	実施主体	SDGs17の目標																	参考資料
					1 貧困	2 飢餓	3 保険	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ、産業化、イノベーション	10 不平等	11 持続可能な都市	12 持続可能な消費と生産	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実施手段	URL、文献名、出典（閲覧日：2022年3月31日）
次世代に向けた人材育成への取り組み		当社入社時に職務遂行能力に応じた階層ごとの研修や、各職種に求められる専門的知識の習得を目的とした職種別研修や安全衛生教育、法務研修などを実施している。入社時研修では、建設技能者の育成施設である富士教育訓練センターにて技能体験実習を実施しており、安全、品質、工程管理等の施工管理能力の向上を図るとともに、同期社員同士のつながりを深める機会を設けている。		奥村組																		OKUMURA CORPORATE REPORT 2021 P45-46
海外主要拠点において、グローバル人事制度を導入・運用	外国人職員のエンゲージメント向上	2017年度から国際部門の主要拠点であるシンガポールと香港の外国人職員を対象とした人事評価制度を導入し、2018年7月からは等級・報酬制度も導入した。 目標達成の動機づけと人材開発の促進、上司・部下とのコミュニケーション促進を図り、目標達成に対して適切にインセンティブを持たせ、報酬に国際部門の業績や評価を反映させることで、外国人職員のエンゲージメントを高めている。		五洋建設								●		○								https://www.penta-ocean.co.jp/company/csr/report/2022/pdf/2022_11.pdf
「鹿島パートナーカレッジ」	技術者や技能労働者、経営幹部を計画的に育成・確保	協力会社組織である鹿島事業協同組合と連携し、協力会社の人材育成を目的とした「鹿島パートナーカレッジ」を設立。 本カレッジでは、将来の鹿島マイスターや経営幹部の候補者を対象に、自身の職種や担当工事だけでなく、現場や会社、さらには建設業界全体を俯瞰できる幅広い視野とリーダーシップを有する人材を育成する。		鹿島建設				○				●			○							協力会社の人材育成を目的とした「鹿島パートナーカレッジ」を設立	プレスリリース	鹿島建設株式会社（kajima.co.jp）
技能労働者の教育・訓練施設「清水匠技塾」	技能労働者の確保・育成	建設技能労働者の高齢化が進む中、工事現場の生産体制を維持していくためには、新規入職者の確保とともに、適応・定着を図るための継続的な教育・訓練が不可欠であり、協力会社組織「兼喜会（かねきかい）」と連携して、技能労働者の入職促進、入職後の教育・訓練の取組みを強化・拡充していくため、専用施設として建設・運営している。		清水建設								●										https://www.shimz.co.jp/company/about/news-release/2020/2020016.html
後継経営者研修	後継経営者の育成・教育	大林組林友会（協力会社組織）から推薦を受けた次期後継者を対象に、経営者に必要とされる能力や人材育成の重要性について学ぶ機会を設ける。		大林組、大林組林友会連合会				●				○									○	https://www.obayashi.co.jp/ir/upload/image/ir2022.pdf#page=34
高校向け探究教材「100年を創造するチカラ」	次世代教育	高校の「総合的な探究の時間」に活用できる教材を無償提供。		鹿島建設				●														高校向け探究教材「100年を創造するチカラ」｜サステナビリティ｜鹿島建設株式会社（kajima.co.jp）
戸田みらい基金を設立	建設産業の未来を支える「担い手」の育成に向けた各種支援事業を通じて、産業全体の発展に貢献する	・若手技能者の採用や育成に資する活動に対する助成 ・建設に関する教育振興に係る助成事業 ・女性技能者の継続就労に対する助成 ・外国人技能実習生の受け入れに係る助成		戸田建設								●										戸田みらい基金（戸田建設）
前田建設と一緒に工事を行う協力会社「TEAM―Z」（前友会）	建設技能者の人材を確保し、育成していくことが、建設産業の魅力を高め、品質の高い社会基盤の整備に繋がる	前田建設のWEBサイトにて協力会社の求人情報、職場環境、福利厚生等を発信することで担い手確保支援を進め、工事施工に必要となる公的資格の取得支援や勉強会の開催、グループの工事現場における実績と技術力を評価する表彰制度や勤務実績に応じた支給金制度によって人材育成支援を進めている。		前田建設工業								●			○							https://team-z.jp/

・・・代表事例　・・・・代表に類似した事例

事例タイトル	目的・目標	具体的内容	参考図	実施主体	SDGs17の目標																	参考資料
					1 貧困	2 飢餓	3 保険	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ、産業化、イノベーション	10 不平等	11 持続可能な都市	12 持続可能な消費と生産	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実施手段	URL、文献名、出典（閲覧日：2022年3月31日）
ウェルネス建築の推進	心身の健康と豊かな生活環境の確保	人が健康になる空間を目指して、ウェルネス建築を推進している。竹中工務店の新入社員が共同生活をする「深江竹友寮」の建替えでは、シェアリビングを中心とした交流の誘発、自然を取り込み、寮生の心身の健康と豊かな生活を支える環境を実現し、集合住宅としては日本初となるWELL認証「Silver」ランクの認証を取得した。	竹中工務店竹友寮	竹中工務店			●	○	○							○							https://www.takenaka.co.jp/enviro/es_report/pdf/2022/all.pdf
小学生対象の建築を学ぶワークショップの開催	社会貢献活動の推進	茨城県の水戸市新市民会館等施設建築物新築工事作業所で、TAKENAKAキッズプログラム「たてもの探検隊」を開催した。これは、建設中の作業所に地域の小学生を招き、建物の特徴を見て触れて感じてもらう体験型の企画で、今回は、やぐら広場の空間を構成する「燃エンウッド®」に着目して、木を使用する背景や伝統的な木組みの仕組みを学んでもらった。参加した小学生からは、「木や見学した建物についてもっと知りたくなった」という嬉しい感想をいただいた。	木組み模型で、木をつなぐ仕組みを学ぶ	竹中工務店				●							○						○	https://www.takenaka.co.jp/enviro/es_report/pdf/2022/all.pdf